指定管理者制度導入施設の運営状況(令和2年度)

1. 施設名等

		所在地	大分市大津町1丁目9番5号
施設名	大分県聴覚障害者センター	電話番号	097-551-2152
		ホームヘ゜ーシ゛	https://www.toyonokuni.jp/

2. 指定管理者および県の所管部課(窓口)

	名 称	社会福祉法人 大分県聴覚障害者協会	
指定管理者	所在地	大分市大津町1丁目9番5号	福祉保健部 障害者社会参加推進室 TEL:097-506-2725
	指定期間	平成28年4月1日~令和3年3月31日	

3. 施設の概要

設置年月日	平成8年10月1日
設置根拠	大分県身体障害者更生援護施設の設置及び管理に関する条例
設置目的	聴覚障害者用字幕入りビデオカセットの製作及び貸出しその他聴覚障害者の福祉の増進に関する業務を行う。
事業内容	聴覚障害者用字幕入りビデオカセットの制作及び貸出しその他聴覚障害者の福祉増進に関する業務を行う。
施設内容	(1F) ・ビデオライブラリー ・ミニシアター ・会議室 ・学習室 ・相談室 (2F) ・スタジオ ・制作室 ・研修室 ・ボランティア活動室
使用料等	無料
閉館日	・水曜日 ・国民の休日に関する法律に規定する休日 ・12月29日から翌年の1月3日

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
	平成29年度	25,000	26,203	104.8%
左即利田老粉 / 1 \	平成30年度	25,000	26,599	106.4%
年間利用者数(人)	令和元年度 25,000		24,978	99.9%
	令和2年度	25,000	13,529	54.1%
	平成29年度	4	3.83	95.8%
妆乳和田老进口在(CSNK)	平成30年度	4	4.32	108.0%
施設利用者満足度(5段階)	令和元年度	4	4.68	117.0%
	令和2年度	4	3.98	99.5%

5. 施設の利用状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成29年度	2,298	1,933	2,360	2,465	2,018	2,179	
	平成30年度	2,302	1,987	2,412	2,560	2,042	2,343	
	令和元年度	2,405	1,833	2,580	2,556	2,113	2,188	
利用者数(人)	令和2年度	212	259	1,069	1,151	1,259	1,200	
作用有数(人)	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成29年度	2,254	2,006	2,097	2,104	2,033	1,998	25,745
	平成30年度	2,521	2,167	2,155	1,875	2,283	1,952	26,599
	令和元年度	2,756	2,448	2,120	1,802	2,023	154	24,978
	令和2年度	1,506	1,670	1,556	1,105	1,184	1,358	13,529

6. 利用者満足度調査等の実施状況

TUR # # 0 #	実施方法	施設利用者、研修受講者へのアンケート					
利用者満足度 調査	実施結果	【施設利用者】 「良い」: 63%、「やや良い」: 10%、「普通」: 13%、「やや悪い」: 4%、「悪い」: 0%、「無回答」: 10% 【研修受講者】 「良い」: 54%、「やや良い」: 25%、「普通」: 2%、「やや悪い」: 1%、「悪い」: 0%、「無回答」: 19%					
	利用者等から	の主な意見・要望・苦情	左の対応状況				
駐車場が狭く、駐車台数が少ない。			大人数が集まる行事に関しては、公共機関の利用していただくよう呼びかけるほか、主催者に他駐車場の借用をお願いするなど協力を仰いでいる。 混雑するときは、インフォメーションにナンバーを掲示して移動をお願いし、職員が駐車場でスムーズな誘導を行っている。				
安全確保のため、トイレのドアを外開きにしてほしい。			工事を行い、内開きから外開きに変更。				
会議室の椅子が	が古く、使いづ	らい。	新規に椅子を購入。				

7. サービス向上に係る主な取組内容

	①センター見学者に対する案内サービス向上に努めた(手話指導者派遣中の高校等からのセンター見学を積極的に
	実施)。
	②センター外観は、季節に応じた花を植え、館内は生花を飾るなどセンター内の美化を推進した。
	③センターのHPやブログ、Twitterなどを活用して、センター行事や各種制度について情報提供を行った。
	④登録している携帯アドレスにメール配信を行い、様々な情報も発信している。
	⑤センターの中にアンケート箱を設置、またセンターHPでのアンケートも実施した。
サービス提	⑥親切な対応、適切な相談対応に努めた。

サービス提 供体制の 強化

ı		①耳の口集会(例矢約450人の聴覚院宝老及び即区老
		①耳の日集会(例年約450人の聴覚障害者及び関係者・一般市民が参加)
		※令和2年度は中止
		②高齢ろう者の集い(毎月第1・第3火曜日)
		※令和2年度は7月~3月にかけて計9回実施した以外は中止
		※ヤヤと十支は/カックラー・カラリナルしに次かは十九時間は上中女
		③通訳者の技術レベルの更なる向上を図るため、外部講師を招聘研修も実施。
	イベント等	
	の充実	

8. 管理に係る収支の状況

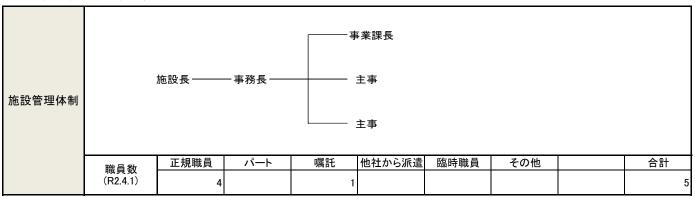
(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	収入額(A)	27,998	28,626	30,375	28,651
	県からの委託料	27,978	28,141	28,200	28,299
内	利用料金				
訳	事業収入				
九	自主事業収入				
	経理区分間繰入金収入(本部会計)	20	485	2,175	352
	支出額(B)	27,998	28,626	30,375	28,651
	人件費	20,200	20,182	22,240	20,200
内	維持管理費	1,201	1,272	1,273	1,578
訳	事業費	4,069	4,232	4,266	4,310
九	自主事業費	2,528	2,940	2,596	2,563
	その他(〇〇、〇〇)				
	収支差額(A-B)	0	0	0	0

9. 施設使用料等の収入状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成29年度							
	平成30年度							
	令和元年度							
利用料金(千円)	令和2年度							
利用秤並(十円)								
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	年度 平成29年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計 0
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	平成29年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	0

10. 指定管理者の管理体制



11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	①第6ブロック施設長会議及び研修会(12/1:オンライン) ②人権啓発研修大分県(8/3) ③シェイクアウト避難訓練(9/1)や救急法講習会(3/8) ④労働講座大分県(12/1) ※その他予定されていた各種研修会等は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
防災に関す る研修・訓 練	センター利用者と津波避難訓練、地震後の火災発生避難訓練を2回実施(うち1回は大分市シェイクアウトと同日)。 その他、AED救急法の勉強会を行った。
安全対策等	①消防用設備点検実地(年2回) ②緊急地震速報表示端末の設置 ③緊急時の連絡等について、聴覚障害者への配慮として非常用のフラッシュライトによる警報やインフォメーションシステムを配備 ④火災等に備えて、階段避難器具を配備